

科目名		職業性腫瘍学演習	
科目責任者	藤澤 浩一	(職業性腫瘍学 教授)	
担当者	李 云善	(職業性腫瘍学 准教授)	
開講時期:	2年次	単位数:	4 単位
		時間数:	90分× 30 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>職業がんの予防に応用できる能力の修得のため、職業がんの歴史、原因物質、発がん機構を整理し、発がん性を予測する試験、発がん性化学物質の取り扱い、管理について演習をとして学び理解する。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 職業がんの歴史について論じることができる。 2) 職業がんの代表的な原因物質について論じることができる。 3) 発がんの一般的な機構について論じることができる。 4) 遺伝子DNA損傷について論じることができる。 5) DNA損傷の修復、突然変異について論じることができる。 6) 発がん物質の体内動態(吸収・代謝・蓄積)について論じることができる。 7) 発がん性を予測するin vitro試験について論じることができる。 8) 発がん性を予測するin vivo試験について論じることができる。 9) 発がん性の定量的評価について論じることができる。 10) 発がん性物質の定量的リスク評価について論じることができる。 11) 発がん性物質の作業環境管理、作業管理について論じることができる。 12) 健康管理、衛生教育について論じることができる。 			
● 評価方法	プレゼンテーション内容40%、討議への参加度20%、課題レポート40%等で総合評価する。		
● 参考文献	演習の中で必要に応じ紹介する。		

● 授業内容

回	内容	担当教員
1・4・7・10・13・ 16・19・22・25・28	職業性腫瘍学研究室セミナーで、職業性腫瘍学全般にわたる幅広い基礎知識を演習を通して修得する。	藤澤、李
2・5・8・11・14・ 17・20・23・26・29	職業性腫瘍学研究室抄読会で職業性腫瘍学に関する内外の論文を読んで最新の知見を得ると共に問題点を議論する。	藤澤、李
3・6・9・12・15・ 18・21・24・27・30	職業性腫瘍学研究室カンファレンスで、大学院生自ら発表・討論を行うことで、プレゼンテーションならびにディスカッションの基礎を身につける。	藤澤、李